

7月のできごと まちかど クリッパ

今年のうまかまつりは雨のち晴れ！

安平町の夏を彩る「第10回あびら夏！うまかまつり」が7、8日の両日、ときわ公園（早来北進102）で開催されました。初日はあいにくの雨で花火大会は翌日に延期しましたが、ビアガーデンやステージ発表、恒例の「アサヒメロン早食い競争」などは予定通りに行われました。好天に恵まれた2日目は町内外から詰めかけた大勢の人でにぎわい、お待ちかねの花火大会が祭りを締めくくりました。（レポート/YC早来・厚真 山田 誠）



▲Ms.OOJAさんのステージです！素敵な歌声でした♡（写真撮影/山田）

「好き嫌いを減らしてほしい」子ども食堂で高校生が調理

NPO法人「木と風の香り」（辻川恵美代表）が運営している子ども食堂「木と風の香りカフェ」（苫小牧市音羽町1）で25日、苫小牧総合経済高校の生徒たちが作った料理を子どもたちに提供する行事「キライをスキに変える」が行われました。今回、同カフェで料理を作ったのは同校情報処理課3年生の小原優花さんと林七海さん、三浦玲菜さん、棟方音羽（とわ）さんの4人。同校では生徒たちがテーマを決めて調査研究する授業があり、4人は子どもの好き嫌いを少なくできるように調理法を考え企画しました。用意したメニューはピーマンやナスが入ったハンバーグや、ニンジンとジャガイモなど野菜をたっぷり使ったポトフなど3種類。同カフェが毎週水曜日に開設している「放課後カフェ」に合わせて用意し、4人は野菜を細かく刻むなど工夫を凝らして調理しました。訪れたほとんどの子どもたちは「ピーマン嫌いだけどおいしかった」と完食していました。4人は「子どもたちの好き嫌いを少しでも克服できていたらうれしい」と笑顔で話しました。★木と風の香りカフェではボランティアスタッフを募集中。学生さんの参加も大歓迎です。問い合わせは辻川代表（☎090-4541-0669）へ。



▲子どもたちに料理を振る舞う高校生

大きなシャボン玉とイタドリの水鉄砲

NPO法人お助けネットが運営する「子育て支援センターすくすく3♥9」（白老町日の出町3）で25日、「小学生あつまれ～森ちよこ～」が行われ、終業式を終えた小学生が約20人参加しました。「森ちよこ」は小学生居場所作り事業として、定期的にセンター敷地内の「すくすくの森」で遊ぶ企画。今回は特大サイズまでできるシャボン玉遊びと、イタドリの茎を使った水鉄砲と笛、一輪差し作りに挑戦しました。子どもたちは出来上がった水鉄砲に水を入れて飛ばし合い、森の中で楽しそうな歓声を響かせていました。



老人オリンピック 会員らスポーツ楽しむ

苫小牧市老人クラブ連合会（山川静子会長）が主催の「第39回老人オリンピック」が12日、市総合体育館（末広町3）で開かれました。市内45クラブの60～90代の1,030人が、個人と団体合わせて8種類の競技を楽しみました。個人競技の「一本釣り競争」は、子ども用ビニールプールの中に配置したプラスチック製の魚を釣ってからゴールへ向かうルール。会員たちは釣り針になかなか掛からない魚にあせりの表情を浮かべながら、レースに挑んでいました。団体競技の「ボール送り競争」は10人1組で列になり、次々と隣にバスケットボールを手渡し。慎重さとスピードが勝負の競技に、会場内は熱気に包まれていました。重本清実行委員長（72）は「今年も元気いっぱいの方々と、楽しく交流できてうれしい」と話していました。



▲うまく釣れるかな？



▲慎重に素早くボールを送る参加者たち